

鉄道ピクトリアル

1965年10月号 Vol. 15 No. 10

表紙「開業1年の新幹線」 岸 幸男 撮影
カラー頁「たかやま号」 服部光明 撮影

グラフ

110キロ運転に成功した新EF65と20系客車	編集部	7
開業1周年を迎えた新幹線	編集部	8
10月時刻改正の花形（481系・475系・455系）	田中 正之	10
黒部の鉄道	関沢 敏夫・熊野 正博	12
大山ケーブルカー復活	生方 良雄・中川 浩一	14
鳳凰三山を背に（解説34頁）	杉浦 一郎	39
ドイツ連邦鉄道最新製E03系電気機関車	木村 敬	40
曲線（抜海・石北越え）	菊地 正雄	42
鞍馬路の秋（こう配・くらま路の秋）	松下 了平・田上 順彦	44
200キロ発祥の地（解説34頁）	岸 幸男	46
思い出の駅舎（札幌・大阪・横浜・水戸・東京・京都・万世橋・上野・仙台・門司・新橋・長崎）	中川 浩一・高松 吉太郎	84
蒸気動車と内燃動車	和久田 康雄	50
わだいのくるま（162）高山線用名鉄キハ8000系気動車	白井 昭	52
481系高速試験	古山 善之助	54
トピックフォト		79
九州、関西・中国、中部・北陸、関東・東北など		

記事

「今月の話題」国鉄10月に時刻改正	3	
東海道新幹線の1年をかえりみて	小椋 康夫	4
昭和40年10月の時刻改正について	田頭 守	15
新幹線1年間の主な出来事		18, 58
高速貨車・ワキ10000（下）	村井 健三	19
黒部峡谷の交通機関	関沢 敏夫・熊野 正博	22
日本電力時代の黒部の鉄道	中川 浩一	29
大山ケーブルカー復活	生方 良雄	31
復活した大山ケーブルカーに乗る	中川 浩一	32
鉄道の話題		34
資料・日本の私鉄（4）	和久田 康雄	35
481系高速運転試験列車試乗記	古山 善之助	55
鉄道建設公団昭和40事業年度事業計画について	斎藤 俊彦	59
39年度の国鉄旅客・貨物輸送の概況	平野 享	62
40年度国鉄新造車番号表	国鉄工作局	64
アルプス電化試乗記（上諏訪→松本）	笠原 香	66
書評「日本の鉄道」	宮本 政幸	67
鉄道記念碑めぐり（18）「大屋停車場碑」	小林宇一郎	68
東北ローカル線シリーズ（9）「産業開発に期待される八戸線」	三浦 正孝	70
質問に答える		73
読者短信		75
8月のメモ帳		78
TTKだより・後部車から		87

国鉄 10月のダイヤ改正を発表

ダイヤ改正発表の新聞記事
40.8.14 交通新聞

今月の話題

国鉄10月にダイヤ改正

国鉄は、10月1日を期して予定どおり全国的なダイヤ改正するとともに、懸案の東海道新幹線の3時間10分運転を11月1日から実施すると発表した。（詳細別掲）

一般ダイヤ改正の旅客関係では、現在東北・山陽本線など全国主要幹線で進めている線増、盛岡・糸魚川・松本・熊本等の電化工事の完成、および車両増備により全線で旅客列車198本（特急26本、急行40本、準急25本、その他107本）を増発するとともに、山陽・九州関係では新大阪一博多間の特急で下り30分、上り35分、東北本線上野一盛岡間で下り25分、上り35分の時間短縮を行なうなど、全面的なスピードアップを実施する。

貨物関係では、特急15本のほか、総計226本の列車が増発されるが、このうち特に、コンテナ輸送は大幅に拡充され、コンテナ保有個数は現在の1,936コから一挙に約3倍の5,778コとなり、取扱駅も現在の29駅が68駅となり、全国主要都市間にコンテナ輸送が実施される。

小口貨物輸送は、全国に163の輸送基地を設け、基地相互間を鉄道により高速輸送を行ない、基地に対する集約・分散は自動車を使用するなどして、汐留一久留米間の小口扱貨物は現在の67時間を31時間と約1/3に短縮するなどである。

青函連絡は、すでに8月から新造船6隻が就航しているが、10月からは旅客便10往復（現行6）、貨物便13往復（現行14）になり、所要時間も4時間30分から3時間50分と40分短縮される。

新幹線は、現在1日30往復を43往復にふやし、11月から55往復に増発する。

〔表紙〕「開業1年の新幹線」
ひかり17号 岸 幸男
有楽町付近にて 昭40.8.17
マミヤプレスセコールF3.5 絞り8ダイム
1/250 エクタクロームE3

〔口絵〕「たかやま号」 服部光明
名鉄キハ8000系気動車4連
高山線飛水峡にて 昭40.7.27
スピガラテレオブター250ミリ F5.6
絞り11 タイム1/200 UV使用
エクタクロームE2

TETSUDÔTOSHO KANKOKAI
Nihon Kotsûkyôkai Bldg.
Marunouchi3, 4 Tôkyô/Japan